

地域共生社会のコンセプトと実践

厚生労働省社会・援護局

地域福祉課長 野崎伸一

直面する課題と目指したい地域の姿

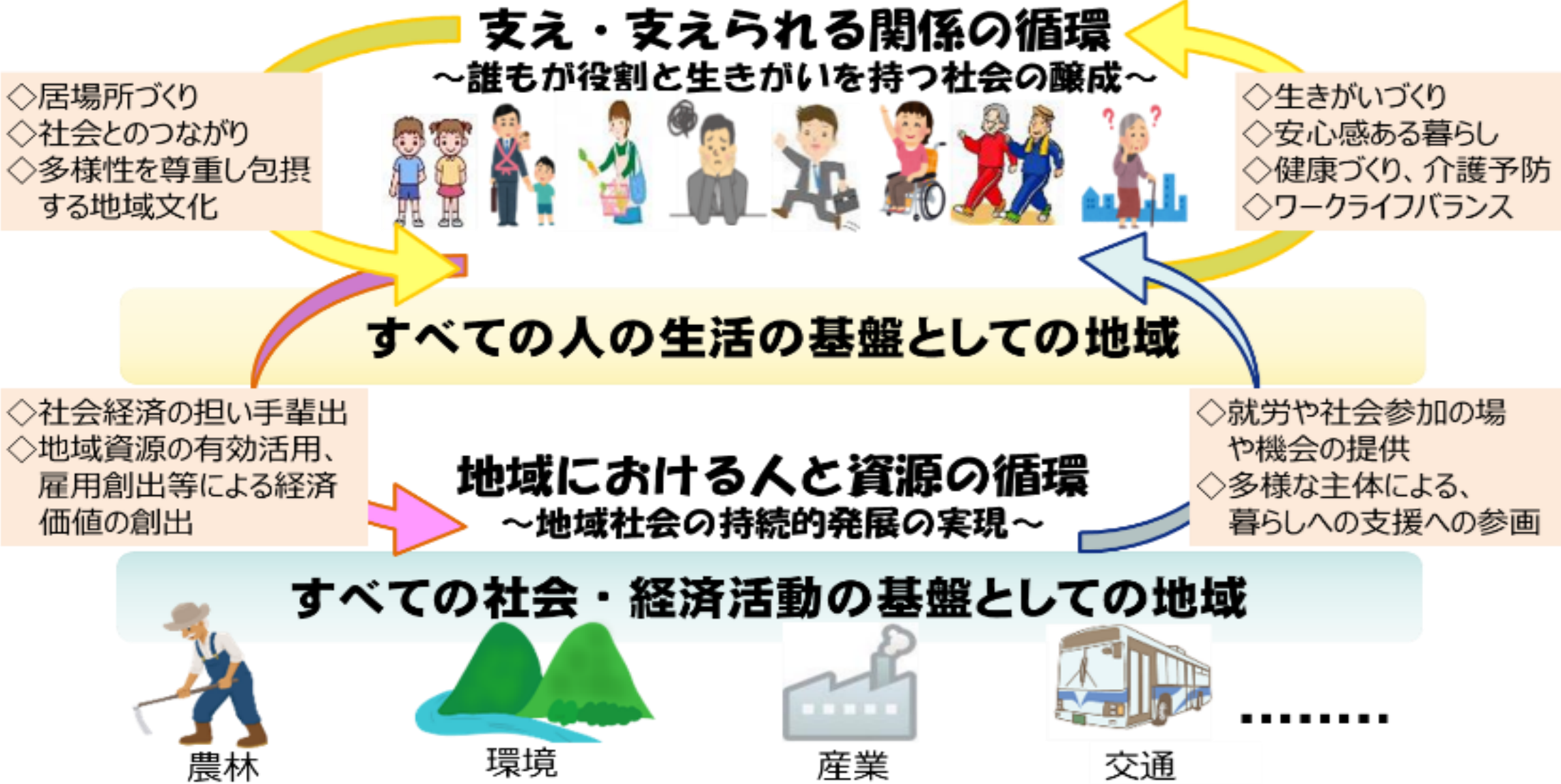
直面する課題

- 世帯構造が大きく変化し、単身世帯が約4割に。
- 地域・家庭・職場など暮らしの領域における支え合いが弱まっている。
- 社会経済の担い手が減少し、持続が危ぶまれる地域も。

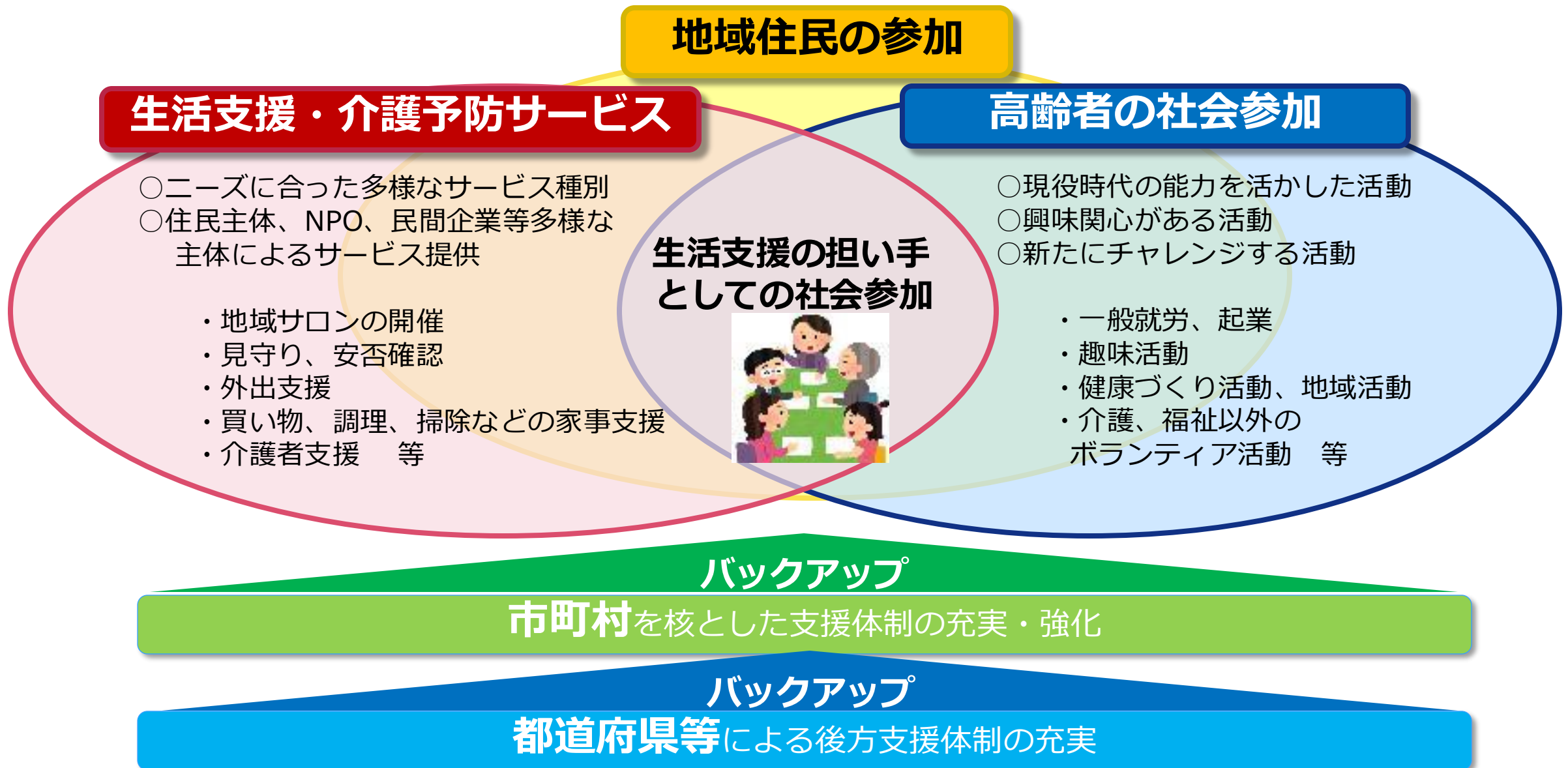
目指したい地域の姿

- ライフステージの各段階で、一人ひとりの状況に応じて、**他者とのつながり**を持ち、**就労や地域活動などに参加できる**
- 認知症になる、身寄りがいないなど、様々な困りごとがあっても、**必要な支援を受ける**ことができる
- タテワリを超えた協働を生み出すことで、**暮らしの安心**（地域福祉）と、**地域の持続的发展**（地域経済）が**循環する**

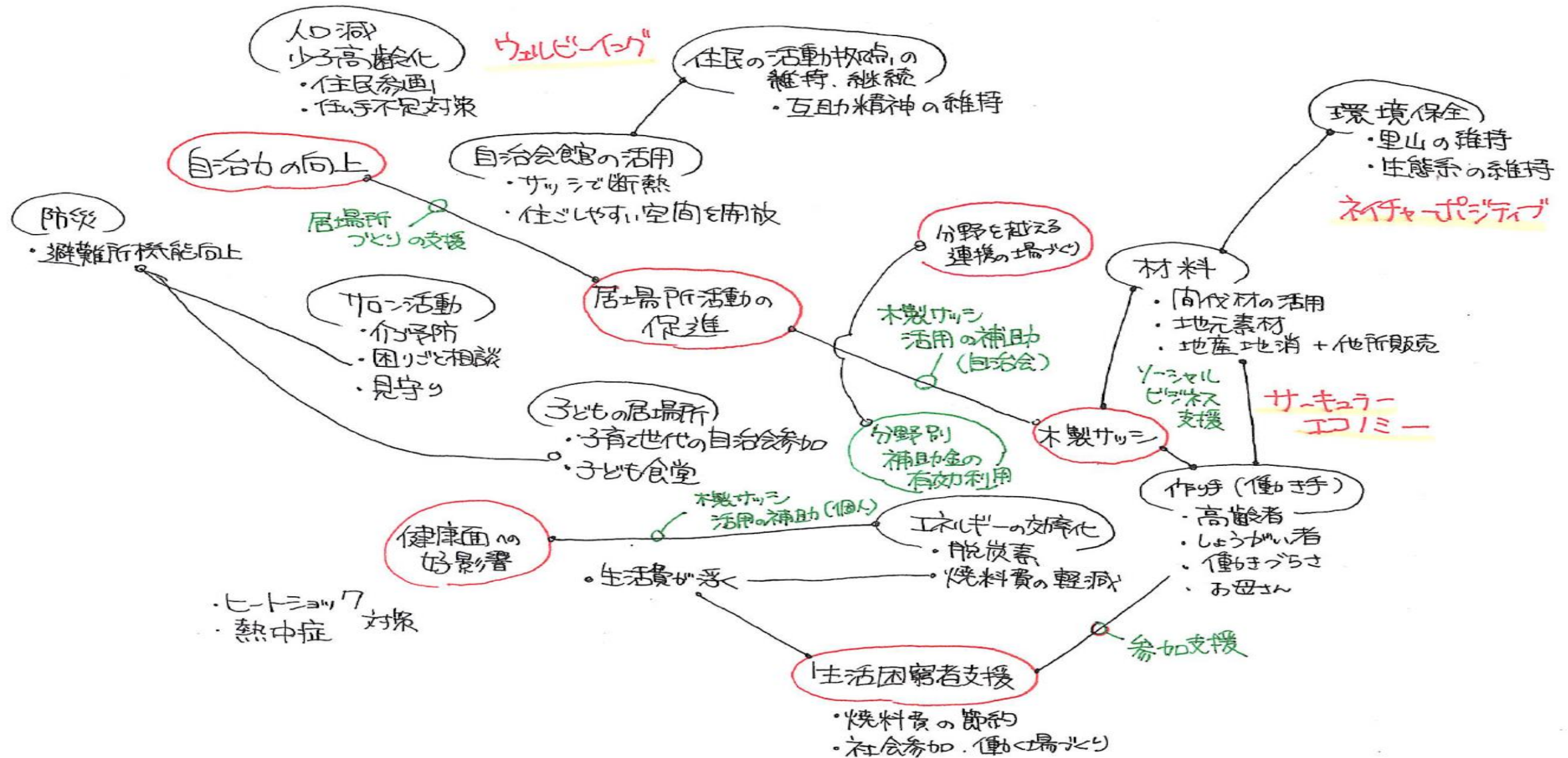
地域共生社会のコンセプト：地域で生み出す 2つの循環



市町村による地域づくりの支援 ～介護予防・日常生活支援総合事業～



福祉×環境×α ～A市の社会福祉協議会の方の妄想～



ポイントと課題

- 地域にある価値を見いだす : 里山も人も地域の資源
- 掛け算をコーディネートする : 地域内と地域内外の協働
- 活動をどう持続させていくか : 財政面でも、担い手の面でも